

明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新年をご家族の皆さまとお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年を振り返ると兜町の大発会で株式市場は22年ぶりとなる大幅上昇で幸先の良い年明けとなりました。安倍首相は年頭所感で『明治維新から150年を迎えて人口減少社会は開国と同じ国難であるが、アベノミクスで景気回復は地方にも広がり、一億総活躍社会で先人たちと同じように未来を変えることができる』と述べています。確かに大企業中心の好景気は戦後最長のイザナギ景気(73ヶ月)を超えようとしており、大企業では好決算が発表されています。しかし、地方への広がりはまだ届いていないのが現状です。地方には景気回復の実感のないうまま過ぎ去った1年だったような気がします。

また、世界ではあれだけ敵対心を吹き出しにしていたアメリカと北朝鮮が突如会談し、南北朝鮮の首脳が会談するなど和解の兆しが現れて、これで北朝鮮のミサイル攻撃の恐怖は去ったかに見えましたが、日韓は慰安婦問題に象徴されるように国家間の意思の疎通を欠いて冬の時代を迎えることになりましたし、その後の北朝鮮の核放棄の動きは止まったままで、まだまだ安心とはいかないようです。中東の和平が絶望的になるとの同盟国の意見を無視してアメリカ大使館をテルアビブからエルサレムに移転するなど、トランプ大統領は相変わらずアメリカファーストの姿勢を崩さず、G20サミットでは自由主義貿易の盟主を自認していたアメリカの反対で反保護主義の文言を削除した首脳宣言となつてしまいました。日本にはTPP11を超える2国間

貿易を迫っており、安倍首相には日本の食料自給率を守り、安全安心な食料提供基地である北海道の農水産業を守る毅然とした立場で交渉に臨んでもらいたいものです。

国内においては平昌冬季オリンピックで羽生選手らの活躍でメダル13個を獲得、昨年の流行語大賞は女子のカーリング選手が発した「そだねー」に決まりましたし、テニスは4大タイトルの全米オープンで日本人初優勝の大坂なおみ選手、野球では大谷選手が大リーグでの二刀流の活躍で新人王を獲得、甲子園では金足農業フイーバーが



浦幌町長 **水澤 一廣**
みざわ かずひろ

おこり、その中心選手の吉田輝星選手が北海道日本ハムファイターズに入団するなど、明るい話題が続きました。しかし、その反面パワハラ問題でスポーツ界がゆれ、西日本豪雨では200名以上の死亡者が出る自然災害、森友学園文書偽造事件など多事多難な年でもありました。

北海道では震度7の「北海道胆振東部地震」で初めてブラックアウトを経験し、電力供給事情の脆弱性を思い知らされましたし、厚真町、むかわ町、安平町の3町を中心に大きな被害がもたらされて長期の避難生活も余儀なくされた方があり、浦幌町職員を支援活

動に派遣しましたが、改めて災害対策の重要性を思い知らされました。浦幌町では商工会青年部創立50周年、千人踊りの会創立30周年、浦幌乳業創立30周年を迎え、給食センターの新築落成、新たなアンバサダーへの委嘱(4人目)、地域おこし協力隊員による新会社創業などがありました。野火が多発するという事もありました。

浦幌町の基幹産業である一次産業では酪農関係が引き続き高値安定傾向にあり、ブラックアウトの影響を受けましたが生産高は好調を維持しました。一方の畑作は6月7月の長雨が続き、影響は最後まで回復する事が出来ず、全ての作物が豊穡の秋を迎えた一昨年は様変わりとなったしまいました。また、林業では材の価格も安定しており、順調な生産が続きました。漁業においては主要魚種である秋鮭は2年続きの不漁となりました。

2019年(平成31年)はどんな年になるでしょうか。3月にはイギリスがEUからの離脱する期限を迎えますが、英国内の政治的問題もあり離脱交渉は困難を極めています。米中の貿易摩擦は中国経済の変調をもたらさし、余波は中国向け輸出に依存しているアジア全域に及んでいますし、これまで順調なアメリカ経済の下振れ懸念も指摘されており、世界経済については日本経済への影響が心配されます。

日本では現天皇陛下のご退位により、5月から新年号に変わりますので平成の年号で新年を迎える最後の年で、10月から消費税が10%に改定される予定ですので景気の動向にも目が離せません。蝦夷地から松浦武四郎氏により北海道と命名されてから昨年は150年を迎えましたが、浦幌町は明治33年に生剛外2か村戸長役場が設置されたのが浦幌町の開町としていますので、今年で120年の歴史を刻むこととなります。先人は幾多の困難と闘いながら現在の礎を築いてこられたのです。現在を生きる我々は改めて先人の労苦と営々として築かれて来た歴史の重みを受け止めるとともに、これから我々の果たしていく役割を思わざるをえません。

開町120年に合わせて、北海道日本ハムファイターズの応援大使が浦幌町に来ることが正式に決定し、選手は11月24日のファンフェスティバルで浦幌町の子供達が抽選をおこない、中島卓也内野手と西村天裕(たかひろ)投手のお2人に決定しました。お2人には2019年を通して浦幌町のPRをしていただきますし、来町して町民の皆さんとの触れ合いもしていただくこととなります。また、1月26日には初めての冬の花火大会を観光協会と十勝毎日新聞社の共催で開催されます。冬の澄んだ空気の中を6000発の花火を打ち上げますので、楽しみにしてください。

浦幌町の最上位計画である「第3期まちづくり計画」は4月から後期4年目を迎えて残す期間は2カ年となります。今年度もあと3ヶ月となりましたが、残された課題にしっかりと取り組んでまいります。

年頭に当たりまして、これまで同様に町民目線の町政執行を心がけていくことをお誓い申し上げますとともに、今年が浦幌町にとって平穩無事で1年がより良い年であること、町民の皆様がますますのご隆盛とご健勝、そしてご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

亥(いい)年 猪突猛進

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

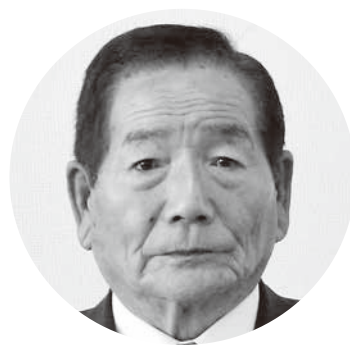
町民の皆様におかれましては2019年(平成31年)平成最後となります輝かしい新年をご家族皆様がお揃いで迎えられ、様々な想いを胸に祝福されました事に、共に心からお慶びを申し上げます。

昨年を少し顧みますと、世界的に地球の暴走なのかと戸惑う程に大きな災害の発生が報じられております。今一度自然災害なのか、人的災害なのか検証し、考える必要があると思っております。地震は別と致しましても、米国の大火山やハリケーン、アジア各国の台風における大雨、洪水被害は目に余るところであります。

日本も例外ではなく昨年は数多くの天災地変に見舞われた年でありました。年初めの豪雪や、多くの記録的な豪雨、そして猛暑、とりわけ西日本を襲った豪雨や胆振東部地震における凄まじい被害の状況は脳裏から取り去ることは出来ないところであります。今までに聞いた事のない「バックウオーター」や「ブラックアウト」「走錯」などの言葉も初めて聞いた思いであります。

加えて自然の魔力を通じ、「想定外」と言う言葉の無力さと無責任さを教えていただいた気が致します。被災された皆様方におかれましては、自然の力の恐ろしさや人間の無力さを感じさせられたことはないと思っております。いかに科学が進歩しようとする自然の脅威には勝てず、それを受容しながら生き延びる知恵の尊さを教えられた気が致します。

況であった事は町民皆様が肌で感じられているところであり、播付後の6月、7月の曇雨天と低温、天候不順の影響を受け、回復の期待も致しましたが、作況判断は不良であり、収穫実績もおもわしくなく(小麦、豆類、馬鈴薯)不良、(ビート)平年作、畜産についてはやや強含みで推移した様に感じているところであります。漁業(定置網)においては、ここ数年厳しい環境であり、今後早い漁獲回復を期待したいところであります。



浦幌町議会議長
たむら ひろくに
田村 寛邦

商工業につきましても、商工会員皆様が一同に会し、知恵を結集し、活性化事業などを推進されておりますが、

人口の減少や高齢化などの問題、後継者対策の解決に努力されている状況を伺っております。今一度町民の皆様への地元商店のご利用を願うものであります。

されていく「あり地獄」は避け、見え透いた「うそ」はやめて知性と良識のある政策を望み、地方に目を向け、力を注いでいただきたいと願うばかりであります。

私達議会も町民に開かれた議会、町民と共に考え、共に歩む議会として、平成27年の統一選挙後速やかに4年間を「第2次議会の活性化」として「議員のなり手不足解消」を最優先課題として100回近い審議検討を重ねて参りました。その過程の中で「議会報告会」「一般会議」「カフェDEE議会」「おじゃまDEE議会」などを毎年実施させて

いただきました。チーム議会として町民と共に歩む議会を目指し努力して参りました。その姿勢を多くの町民の皆様に一歩一歩でありますが、ご理解とご協力、ご支援へとお力をお貸しいただき、議員一同が感謝感激やっ来て良かったと感動させていただいているところでもあります。こうした町民と共に活動を共有している町議会にと、全国市町村議会60ヶ所以上からの議会の皆様がお足を運んでいただき、私達も全国それぞれの議会の活動活躍をお聞きした時、未だ未だ浦幌町議会「チーム議会」に努力すべしと気持ちを新たにしまして議会活性化に一層邁進して参りたいと思っております。また議員のなり手不足解消の国へ要望10項目の中から先般の11月21日開催されました全国町村議長大会にて4項目が提案議決されました事は、私達が審議検討した事の評価結果と感謝しております。昨年12月第4回定例会には町民の皆様とお話をし、長きに渡り検討に検討を重ね、「議員のなり手不足解消」の1項目であります報酬に関しまして、結果として、

「なり手不足」解消の打開策の解決につながるのか?結果は最後まで判りませんが報酬増額を提案させていただきます。必ずやなり手不足解消の一助になる事を願うばかりであります。こうして私達が活動を出来ますのも、町民皆様の温かいご支援と町理事者の深いご理解とご協力の賜物であり、チーム議会として活動出来た結果であると自負をしております。

今年も統一地方選挙の節目の年でもあります。平成最後の年、来る5月1日から新たな元号の年でありますが、元号が変わりましても、議会活動は「地方自治は耕せど、耕せど、つきない営み」の精神で町民皆様の声の重さを私達議員の心の糧とさせていただきます。町民皆様と議会が同じ目線に立って、諸問題を共有し、光りの見えるまちづくりを目指し努力をして参りたいと思っております。年明け早々から大変勝手なお願いでありますが、議会基本条例に従いまして「議会報告会」「一般会議」「まちなかカフェDEE議会」「まちなかおじゃまDEE議会」を開催致します。改めてましてご案内申し上げますが、種々都合の関係も有ると存じますが、ご理解の上ご参会賜りご指導、ご助言、ご叱責下さいます様心からお願いを申し上げます。

結びになります。初春とは申しませんが、厳しい寒さの真ただ中であり、町民の皆様におかれましては、風邪の予防や健康管理、交通事故などに充分留意されます様お願いを申し上げます。平成31年町民皆様のご健康で、ご多幸でありますことと、今年も亥(いい)年、五穀豊穡、豊漁、災害のない年で、好天が猪突猛進であります事を共に祈念致しまして年頭の言葉と致します。